

みづき Mizuki Dayori 便り

特別地方公共団体
神奈川県内広域水道企業団 広報誌

NO.32

2019.8

未来につなごう!
広域水道設立50年



50th anniversary



相模取水施設見学コースへ
行ってみた!

NEW

相模取水施設見学コースへ 行ってみた

神奈川県内広域水道企業団(以下、企業団)は、令和元年5月に設立50周年を迎えました。

水道について学べる施設が、ここ、相模取水施設(海老名市社家)の見学コースです。50周年を機に設けられ、6月1日に開催された「みずきフェスタ2019」で一般に公開されました。今回はコースを訪れ、そこで知ったことの感想や、水道についてのそれぞれの思いを聞いてみました。参加してくれたのは設立50周年記念「水道作文コンクール」で入賞された小学生6人とそのご家族です。



見学コースは相模取水施設の管理本館とポンプ棟のフロアを活用して設けられています。管理本館の入り口では、企業団のイメージキャラクター「ウォーピー」がお出迎えしてくれます。

今回の先生



技術部
社家取水管理事務所長
川窪 正さん



技術部
広域水質管理センター長
津田 宏さん

水のふれあい広場

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校 5年
石川 希美さん



管理本館ロビーでは、壁いっぱいに描かれたイラストで水の誕生から再生までの仕組みを知ることができます。また、水道の使われ方などが分かりやすく解説されています。ここから見学コースの始まりです。



相模大ぜきの顔はめパネル



4人家族が
1日で使う水の量を形にすると
こうなるんだね！

みずきフェスタ2019開催(6月1日)

水道週間(6月1日~7日)に合わせて、6月1日(土)に相模取水施設で「みずきフェスタ2019」を開催しました。今年度は、昨年を上回る約2,200名の方々にご来場をいただきました。元号が『平成』から『令和』に変わった5月1日に当企業団は設立50周年を迎えました。これを記念して「50」にちなんだグッズプレゼントや、地元との交流という点にも改めて着目し、海老名市との連携企画も行いました。その他会場内を見学しながら水道施設をめぐるスタンプラリーや、川の水を飲み水にする仕組みを学べる水質実験。そして今年、見学施設としての機能が加わった事務所内のお披露目など、盛りだくさんの内容で、多くの方々に水道について楽しく学んでいただけたと思います。



《水道企業団ニュース》

見学コースはこんな

施設・歴史ゾーン



こんなに遠くから
水が運ばれてくるんだね！

横浜市立伊勢山小学校 6年 西内 結梨さん



ポンプ棟2階では、ダム、取水施設、浄水場など、水道水ができるまでの流れや設備の仕組みなどをパネルや模型で展示。床面の衛星写真で、県内の水道施設の位置などを知ることができます。

自然・環境ゾーン



相模川には
たくさんの植物や動物がいるんだ！



同じくポンプ棟2階では、相模川周辺に生息する動物や植物などの豊かな自然や環境にやさしい水道水づくりについても紹介しています。

横浜市立茅ヶ崎小学校 5年
北村 彩葉さん



見学や、先生との質疑応答で知ったこと

企業団の役割

企業団は、県内を流れる相模川・酒匂川という2つの川から海老名市と小田原市にある取水施設で水を取り入れ、県内4つの浄水場で水道水に処理し、構成団体(神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市)を通じて、ご家庭の蛇口まで水道水をとどけています。24時間365日体制で、業務に取り組み、1日最大2,652,400m³、県内で使用される水道水の約半分をまかなっています。

安全・安心のために

水道水には、国(厚生労働省)が定めた51項目の「水質基準」があります。企業団では、国の水質基準よりもさらに厳しい管理値を決めて水質管理を強化しています。また、二つの川の水を導水管でつなげて、水質事故などでどちらかの川から水が送れなくなても、もう一方の川から水を送ることができるので、水質事故や災害が発生した場合でも水道水を皆さんのご家庭に安定して送れるようになっています。



企 業 団 N O

三保ダム・飯泉取水ぜき見学ラリー(8月7日)

8月7日に、『三保ダム・飯泉取水ぜき見学ラリー』を実施しました。

今回はたくさんの応募の中から抽選された約50名のご家族が参加しました。午前中は飯泉取水ぜきを、午後は酒匂川の上流「三保ダム」に移動して、水道のことを学んでいただきました。参加した方からは「普段入れない所に入れて勉強になった」「暑かったけど楽しかった」「また参加したいです」と、とてもうれしい言葉をかけていただきました。



W ~安全・安心な水道用水の安定的な供給に向けて~

三ツ境本庁舎見学イベント(9月14日)

設立50周年記念イベントとして、三ツ境本庁舎見学会を、9月14日(土)に開催いたします。当日は、施設を見学しながら楽しめる、ウォーキングを実施します。

その他にも、子ども向けのアクションが充実！河川清掃の模擬体験では、企業団グッズを回収して景品をゲットしたり、ストーン・ペイントでお土産づくりができます。

普段は見ることができない施設を、ぜひ見学にお越しください。
(詳細は企業団HPをご参照ください。)



ところ

水質ゾーン



管理本館2・3階では、企業団の安全・安心な水道づくりを紹介しています。水道水の水質基準を始め、生物試験や化学試験などさまざまな試験で使われる設備や機器を見学できます。



防災ゾーン

管理本館1階では、地震に強い水道づくり、万一のときの復旧体制など、企業団の防災への取り組みを知ることができます。また、地震に強い水管など、防災技術の進歩などについても知ることができます。



参加した小学生リポーターたちの感想



私は作文に、森の大切な役割について書きました。今日は森が育てた水が水道水になるために、いろいろな人たちの努力や工夫があることを知りました。これからも水を大切に使います。



学校で水道水ができるまでの大変さを勉強しました。だから作文は「水を大切に」というテーマにしました。今日は実際に水をつくるところを見学でき、大きな機械や設備にとてもびっくりしました。



学校で浄水場を見学したことがあります。今まででは水道水の始まりは浄水場だと思っていました。今日は、その前に取水という仕事があることを知ることができ、とても勉強になりました。



私の作文は「ゆたかできれいな水のために」というタイトルです。今日も勉強しましたが、水道水ができるまではとても大変で、時間がかかります。だから大切にしようと思いました。



水道水にはたくさんの人の気持ちがこもっていると思います。だから大切にしようという思いで作文を書きました。今日、取水施設を初めて見学してその気持ちがとても強くなりました。



私は作文に水を「友達」と書きました。いつも当たり前のようにそばに居てくれる水ですが、ついその大きさを忘れがちになってしまいます。今日勉強したことを生かして大切に水を使いたいです。

取水施設の見学では、「相模大ぜき」をはじめ、「沈砂池」「除じん機」などの取水設備とその役割を知ることができます。子どもたちに人気の魚道観察室には新しくモニター（円の中）が設置されました。ビオトープは相模川の水辺の自然が再現されています。



施設内には魚道や、
ビオトープもあるよ！



横浜市水道局
水の故郷を
訪れてみませんか

横浜市水道局キャラクター
はまピョン

神奈川県内の5つの水道事業体では、県内の水源地域を楽しみながら回ることができる水源通行手形事業を、令和元年12月31日まで行っています。

この水源通行手形を各水源地の提携施設で提示すると、施設利用料や宿泊料などの優待や、食事や買い物での割引などの特典を受けることができます。

他にも、提携施設でスタンプを集めると、スタンプの数に応じて記念品プレゼントの抽選に応募でき、スタンプを10個集めると、もれなくパーフェクト賞をプレゼントします。

ぜひ手形を持って自然豊かな水源地に足を運んでみてください。



[水源通行手形](#)



神奈川県企業庁
神奈川県企業庁と
LINEで友だちになりませんか!?

県営水道キャラクター
カッピー

県企業庁は、LINE公式アカウントを開設し、県営水道の断水情報や大雨の時のダム放流情報、イベント情報などを発信しています！お住まいや職場など知りたい地域を選択して情報を受け取ることができます。この機会に下記QRコードを読み取り、神奈川県企業庁と友だちになりませんか。



こちらのQRコードから友だち登録ができます！



[神奈川県企業庁 LINE](#)



川崎市上下水道局

第61回水道週間
かわさきみずみずフェアを実施しました

川崎市上下水道局
キャラクター
ウォーターン

6月1日から7日までの水道週間に、市民のみなさまに水道事業への関心と理解を深めていただ



「水をまなぼう」コーナー

くことを目的として、6月1日(土)にJR武蔵溝ノ口駅南北自由通路にて実施しました。

「水をのもう」コーナーでは水道水と市販のミネラルウォーターの飲み比べを、「水をそなえよう」コーナーでは水のくみ置きの啓発や応急給水袋・携帯トイレの配布等を、「水をまなぼう」コーナーでは浄水の仕組みについて学ぶ凝集実験を行いました。

また、生田の天然水「恵水」の販売、水源地域である山北町のPR、川崎市管工事業協同組合による水道修繕相談のほか、川崎市水道100周年(令和3年)を記念したロゴマーク投票を行い、大盛況となりました。

[かわさきみずみずフェア](#)



横須賀市上下水道局
好評です！出前授業
～水道の講話と実験をお届けしています～

横須賀上下水道
イメージキャラクター
アクアン

横須賀市上下水道局では、市内小学4年生を対象に出前授業を行っています。

出前授業とは、職員が小学校へ伺い、水道が通る前の映像の視聴のほか、クイズなどを織り交ぜた講話や校内にある池の水をきれいにする実験を行うものです。



出前授業の様子

小学校の総合的な学習や社会科の授業と連携して行うことで、次世代を担う子供たちに水循環の大切さや水環境保全の必要性など、日常生活に欠かせない水道に対する理解をより深めてもらうことを目的としています。

子供たちは、桶で生活用水を汲みに行く70年以上も前の白黒の映像や普段と違う授業と実験に興味津々。いつも「へえー！」や「なるほど！」の声が聞こえてきます。

[横須賀 上下水](#)

みづきPLAZA

神奈川県内広域水道企業団設立50周年記念「水道水道作文コンクール」 最優秀賞受賞作品

みんなでつなぐ川の未来

湯河原町立湯河原小学校 6年 小川 湖子

6年 小川 湖子

おじいちゃんの家のすぐ近くに、大きな川があります。相模川です。河川じきには野球やサッカーなどができる大きなグラウンド、テニスコートもあります。自由に遊べる広場では、トンボや色々な昆虫が取れるので、私はおじいちゃんの家に遊びに行つて川辺で遊ぶことがとても楽しみしています。ここで育つたお母さんは、

「昔にくらべて川の水も、川のまわりもどつてもきれいになつたなあ。」

と言ひます。お母さんが小学生の頃には、川にビニール袋や空

き缶などのゴミが流れしていく、川のわきには沢山のゴミがたまっている場所があつたそうですが、河川じきも今のように整備されていなくて、草が生い茂つた中には雑誌や生活垃圾、時々電化製品など驚くような物が捨てられていた事もあつたようです。おじいちゃんは他國の人たち

と一緒に川辺の清掃や草刈りを時々しています。いつもきれいにしておくと、ゴミを捨てる人が減って、みんながきれいに使おうという気持ちになるそうです。そして、子どものために川辺広場で映画を上映したり、野外調理をして、川や川辺を身近に感じて大切にでもらう機会としているそうです。

川の水が汚れて
いると水をきれい
にするために、多くの時間やお金が
必要になります。
川辺の自然や生態
系を守りながら必

企業団設立50周年記念「水道作文コンクール」受賞者

受賞区分		小学校名	学年	氏名	作文題名
最優秀賞		湯河原町立湯河原	6	小川 湖子	みんなでつなぐ川の未来
優秀賞	神奈川県教育長賞	川崎市立中野島	6	松本 夏紺	水の大切さ
	水道企業団賞	横浜市立大口台	5	築地原 誠	衛生的な水のある暮らし
	神奈川新聞社賞	茅ヶ崎市立鶴嶺	5	石川 希美	よごれた水のゆくえ
		横浜市立伊勢山	6	西内 結梨	私の「友達」の長い旅
入選		横浜市立南山田	6	中野 文統	命の水へ伸ばせ水道管～
		横浜市立田奈	5	村上 莉央	大切な森林
		横浜市立桜岡	5	百鳥 花	水道の歴史
		横浜市立茅ヶ崎	5	北村 彩葉	気持ちのこもった大切な水
		横浜市立平沼	5	前田 夏凜	当たり前じゃない
		川崎市立富士見台	6	稻田 凜香	水道でつながる水しげん
		川崎市立御幸	6	柴原 彩季	水と共に生きる
		川崎市立宮内	5	塩野谷 陽太	災害で水が使えない時
		横須賀市立桜	5	佐々木 久美	ゆたかできれいな水のため
		厚木市立南毛利	5	岩瀬 晓音	水を大切に

※ 学年は、令和元年度現在

2019年度職員採用試験

生活に欠かせない「水」。あなたも「水道のプロ」として活躍してみませんか。

試験の種類など

試験の種類	試験の区分	採用予定人員	受験資格
I 種	行政	若干名	1989年4月2日から1998年4月1日までに生まれた人
	土木	若干名	
	建築	若干名	
	設備 (※科目選択制)	電気機械 若干名	
	水質化学生物 (※科目選択制)	若干名	

受験申込受付期間	2019年9月30日(月)まで
第1次試験日	2019年10月27日(日)
試験会場	専修大学 生田キャンパス7号館

受験案内・申込書の入手方法

- インターネット配布：申込書をダウンロードできます。
 - 郵便請求：〒241-8525 横浜市旭区矢指町1194
神奈川県内広域水道企業団 総務部総務課人事・労務係宛
※140円切手を貼った宛先（住所・氏名）明記の返信用封筒（角2号）を必ず同封してください。
 - 直接配布：当企業団（三ツ境庁舎）にて配布しています。

お問い合わせ先：総務課 人事・労務係 ☎045-363-3894
詳細は当企業団ホームページ採用情報をご覧ください。

《編集後記》

当企業団は令和元年5月1日に設立50周年を迎えました。今号から、設立50周年記念事業に関連したシリーズがはじまります。今回取り上げた「見学施設」は、設立50周年事業の一環で相模取水施設内に整備され、今年4月にオープンしたばかりの新しい施設です。

子どもから大人まで楽しみながら、水道のしくみや企業団の施設について学べるようになっています。

施設の見学を通して企業団について理解を深めていただき、皆さんにとって企業団が、より身近な存在に感じていただければと思います。
(総務・広報係)

神奈川県内広域水道企業団とは

三保ダムと宮ヶ瀬ダムに貯めた水を浄水処理し、構成団体を通じて、利用者の皆様に、安全で安心な水道水を供給している「特別地方公共団体」です。

